

# 産地戦略

実施主体 群馬県（館林地区農業指導センター）  
 都道府県 群馬県  
 対象地域 明和町  
 対象品目 キャベツ



実施期間 令和5～6年度

## 新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

## 目指す姿

群馬県邑楽館林地区では、近年、担い手減少の影響から管理できない農地の増加がみられ、その受け皿として加工業務用冬春キャベツの作付けが増加している。本作型では収穫機等を導入した農業生産法人が現れ、大規模化が進んでいるが、今後の持続的な発展のためには、さらなる作業の効率化、肥料等の生産コストの削減が必要となる。

そこで、直進アシストトラクタ及び「野菜用高速局所施肥機」（新型三兼ライムソー）の導入により、①2段局所施肥による化学肥料使用量の削減と②追肥作業工程の削減、ならびに③溝切、畝立、施肥を同時に高速で行うことによる作業時間・作業工程の削減、加えて④直進アシストによる走行ムラの低減による作業時間の削減効果を検証し、①～④を組み合わせたグリーンな栽培体系の取組を実施する。

## 現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名				耕耘 施肥 耕耘 畝立 定植	中耕 追肥							収穫	
技術名				フロードキャスター トラクタ 畝立機	乗用散布機								

## グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名				耕耘 施肥・畝立 定植	中耕							収穫	栽培マニュアル参照
技術名				直進アシストトラクタ 野菜用高速局所施肥機									栽培マニュアル参照

## グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R11	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	30	▶ 33	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.3	▶ 11.5	
環境にやさしい栽培の取組面積（ha）	0.3	▶ 11.5	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0.3	▶ 11.5	

## 環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

### 〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	肥料散布機による全面施肥 地表面への追肥	▶ 野菜用高速局所施肥機を活用した化学肥料の削減	2 段局所施肥による化学肥料の使用量低減 (全面施肥に比べ30%減)
省力	トラクタに装着した肥料散布機による基肥散布 トラクタによる耕耘作業 トラクタに装着した畝立機による畝立作業 乗用散布機による追肥散布	▶ 野菜用高速局所施肥機を活用した畝立同時施肥および2 段局所施肥	畝立同時施肥(溝切、施肥、畝立)および2 段局所施肥により作業工程を3 行程省略 (①基肥散布、②耕耘、③畝立、④追肥散布の4 工程を1 工程に削減)
省力	トラクタに装着した肥料散布機による基肥散布 トラクタによる耕耘作業 トラクタに装着した畝立機による畝立作業 乗用散布機による追肥散布	▶ 野菜用高速局所施肥機と直進アシストトラクタの組み合わせによる畝立同時施肥	野菜用高速局所施肥機による高速での畝立同時施肥作業ならびに直進アシストトラクタを組み合わせた走行ムラ低減による30%以上作業時間短縮の見込み

### 〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	化学肥料の低減(N成分量kg/10a)	<b>22</b>	▶ <b>15.4</b>	
省力	作業行程3 工程省略	<b>4</b>	▶ <b>1</b>	①基肥散布、②耕耘、③畝立、④追肥散布の4 工程を1 工程に削減
省力	肥料散布および畝立ほ場作業時間(時間/ha)	<b>11.1</b>	▶ <b>2</b>	

## グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

群馬県邑楽館林地区では加工業務用冬春キャベツの作付けが増加している。本作型では収穫機等導入した農業生産法人が現れ、大規模化が進んでいる中、今後の持続的な発展のためにはさらなる作業の効率化、肥料等の生産コストの削減が課題である。本事業により化学肥料の低減及び作業時間の短縮を検証した結果からグリーンな栽培マニュアルを作成し、J A 邑楽館林管内のキャベツ生産者を対象に講習会等でマニュアル等を活用し、本技術の啓発普及、定着を図る。

### 関係者の役割

関係者名	野菜花き課	館林地区農業指導センター	明和町	J A 邑楽館林	メーカー
役割	事業コーディネート、技術指導	技術の普及、技術指導	技術の普及	技術の普及、技術指導	技術指導、情報提供、実証機の支援

### その他